令和元年度 関東地方ESD活動支援センター 地域意見交換会 in 新潟

ESDの今、これから

令和元年9月23日(月·祝) 新潟県立環境と人間のふれあい館

関東地方ESD活動支援センター

| 関東地方ESD活動支援センター | Guestion for Suntamphile Development 地域意見交換会 in 新潟

ESD活動支援センターについて

関東地方ESD活動支援センター Education for Sustainable Development



【概要】

名 称:関東地方ESD活動支援センター

略 称: 関東ESDセンター

英語名: ESD Resource Center of Kanto, Japan

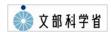
開設日:平成29年7月3日(月)

連絡先:〒150-0001

URL: http://kanto.esdcenter.jp/ E-mail: kanto@kanto-esdcenter.jp

設置者:





北高温地方ESD活動支援センター 地方ESD ₹060-0042 北海道礼模市中央区大道西5-11 大五ビル7階 TEL 011-596-0921 活動支援センター 東北地方ESD活動支援センター 〒980-0014 宫城集仙台市青葉区本町3-2-23 近畿地方ESD活動支援センター 仙台第2合同庁舎1階 ₹540-6591 TEL 022-393-9615 大阪府大阪市中央区大手約1-7-31 OMM5# 関策地方ESD活動支援センター 〒150-0001 東京都地公区神宮前5-53-67 **7730-0011** 広島県広島市中区基町11-10 コスモス青山地下1階 合人社広島紙屋町ビル5階 TEL 03-6427-7975 中部地方ESD活動支援センター 受知県名古舞市中区第2-4-3 様パークビル4階 TEL 052-218-9073 九州地方ESD活動支援センタ 四国始かESD活動支援センター ₹860-0806 ₹760-0023 集本県集本市中央区芥畑町4-18 香川県高松市寿町2-1-1 東太市国際交流会報2號 = 高松第一生命ビル新館3階 TEL 096-223-7422



【関東ESDセンターの役割】

- ① ESD活動を支援する 情報共有機能
- ② 現場のニーズを反映した ESD活動の 支援機能
- ③ ESD活動のネットワークの 形成機能
- 4 人材育成機能

【関東ESDセンター今年度の主要事業】

- ・ESD実践・推進にかかる相談/支援
- ・ウェブサイト、メールマガジン等による情報発信
- ・地域におけるESD推進の課題・ニーズの把握 ・関東地方ESD推進ネットワーク・フォーラムの開催
- ・地域ESD拠点の形成・ネットワークの 構築
- ・地域ESD拠点間、ESD実践者の学び合いの場づくり

【Webサイト】 http://kanto.esdcenter.jp/





ジオック エポ EPO/GEOC

- 官民協働による「地方環境パートナーシップオフィス(地方EPO)」を運営 (環境教育等促進法第19条第1項に基づく拠点として位置づけ)。
- ・中間支援組織として、環境NPOの基盤強化支援のほか、地域の環境課題に応 じて、多様な主体が対等な立場で相互に協力して課題解決に取り組むよう、コ ミュニケーションの場づくり等を行っている。



■ 関東地方ESD活動支援センター

持続可能な開発目標(SDGs)























SDGs & ESD

- ・2015年9月の国連総会にて採択され、2016年1月1日に正式に発効
- ・2030年を達成期限とする17のゴール、169のターゲット、約230の指標

17 パートナーシップ

・先進国、途上国すべての国を対象とする普遍的な目標



貧困をなくす

あらゆる場所のあらゆる形態の 貧困を終わらせる。



飢餓をなくす

飢餓を終わらせ、食料安全保 障及び栄養改善を実現し、持 続可能な農業を促進する。



健康と福祉

あらゆる年齢のすべての人々の 健康的な生活を確保し、福祉



質の高い教育

すべての人に包摂的かつ公正な 質の高い教育を確保し、生涯 学習の機会を促進する。



ジェンダー平等

ジェンダー平等を達成し、すべて の女性及び女児の能力強化を



水と衛生

すべての人々の水と衛生の利 用可能性と持続可能な管理を



クリーンエネルギー すべての人々の、安価かつ信頼で きる持続可能な近代的エネルギー



ディーセントワークと

経済成長

包摂的かつ持続可能な経済成長及びす べての人々の完全かつ生産的な雇用と働 きがいのある人間らしい雇用を促進する。



産業·技術革新·社会基盤

強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベー ションの推進を図る。



格差の是正

各国内及び各国間の不平等を是 正する。



持続可能なまちづくり 包摂的で安全かつ強靱で持続

可能な都市及び人間居住を実 現する.



持続可能な消費と生産

持続可能な生産消費形態 を確保する。



13 気候変動へのアクション 気候変動及びその影響を軽減す

るための緊急対策を講じる。



海洋資源

持続可能な開発のために海洋・海 洋資源を保全し、持続可能な形



陸上資源

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利 用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠 化への対処、ならびに土地の名化の阻止・ 回復及び生物多様性の損失を阻止する。



平和、正義、有効な制度

持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へ アクセスを提供し、あらゆるレベルにおい て効果的で説明責任のある包摂的な制



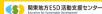
17 調整 目標達成に向けた パートナーシップ

持続可能な開発のための実施手 段を強化し、グローバル・パートナー シップを活性化する。

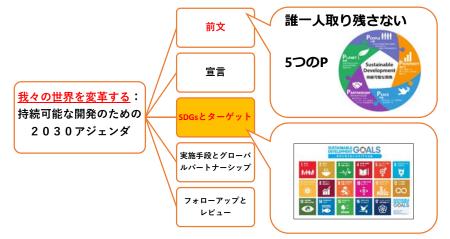


SDGsがつくられたプロセス





持続可能な開発のための2030アジェンダ



SDGsのポイント

普遍性:先進国を含め、全ての国が行動

包摂性:誰一人取り残さない

参画性: **全てのステークホルダー**が役割を

統合性:経済・社会・環境に統合的に取り組む

5. 透明性: **定期的にフォローアップ**





「SDGs」と「教育」

・教育はSDGsの目標4に位置付けられており、ESDは目標4の中のターゲット4.7に記載されています。しかし、教育については、「教育が全てのSDGsの基礎」であり、「全てのSDGsが教育に期待」している、とも言われています。特に、ESDは持続可能な社会の担い手づくりを通じて、17全ての目標の達成に貢献するものです。ですから、ESDをより一層推進することが、SDGsの達成に直接・間接につながっています。また、SDGsを、ESDで目指す目標が国際的に整理されたものとして捉えることもできます。



持続可能な開発のための教育 (ESD) の更なる推進に向けて 〜学校等でESDを実践されている皆様へのメッセージ〜 文部科学省 日本ユネスコ国内委員会教育小委員会





2015年に世界で起こったこと

9月 国連総会において、持続可能な開発のための 2030アジェンダ (SDGs含む) 採択

= Transforming our world

9月 年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が 国連責任投資原則に署名 = <u>ESG投資</u>

12月 国連気候変動枠組条約第21回締約国会議 (UNFCC-COP21) において、パリ協定採択

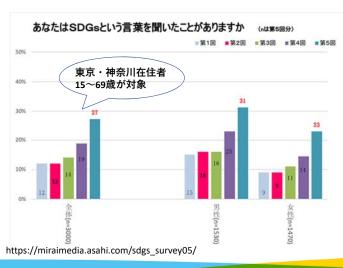
= 化石燃料文明をやめ、新文明を作る



地域意見交換会 in 新潟

SDGs関連トピックス

SDGsの認知度27% (2019.8 朝日新聞)



全国10~70代の男女

SDGsの認知度16% (2019.4 株式会社電通)

SDGsの認知度14.8% (2018.4 株式会社電通)

政府の取組:SDGs推進本部とSDGs実施指針

背景

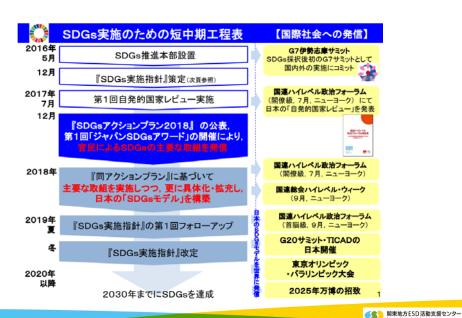
- ○採択にあたっての国連サミットでは、安倍総理が演説し、気候変動、3R等の循環型社会形成の知見や取組を世界に共有することで、日本がアジェンダ実施に最大限努力することを表明した。
- ○政府一体となってSDGsに取り組むため、2016年5月に閣議決定により<u>総理大臣を本部長、全閣僚を本</u>部員とする「SDGs推進本部」を設置。
- ○SDGs推進本部において実施指針を策定、2016年12月22日に発表。

SDGs実施指針(骨子)の概要

- ・持続可能で強靱、そして誰一人取り残されない、経済、社会、 環境の統合的向上が実現された未来への先駆者を目指す。
- ・優先課題(取組の柱)は下記の8つ
- 1 あらゆる人々の活躍の推進
- 2 国内外における健康・長寿の達成
- 3 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション
- 4 質の高いインフラ、強靱な国土の整備
- 5 省・再生エネルギー、気候変動対策、循環型社会
- 6 生物多様性、森林、海洋等、環境の保全
- 7 平和・安全・ガバナンス
- 8 SDGs実施推進の体制・手段



平成28年5月20日(官邸) SDGs推進本部第1回会合にて 発言する安倍総理



第1回「ジャパンSDGsアワード」受賞団体

- ◆ S D G s 推進本部長(内閣総理大臣)賞 北海道下川町
- ◆SDGs推進副本部長(内閣官房長官)賞
 - 特定非営利活動法人しんせい
 - パルシステム生活協同組合連合会
 - 金沢工業大学
- ◆SDGs推進副本部長(外務大臣)賞
 - サラヤ株式会社
 - 住友化学株式会社



平成29年12月26日

- ◆SDGsパートナーシップ賞(特別賞)
 - 吉本興業株式会社
- 株式会社伊藤園
- 福岡県北九州市
- 公益財団法人ジョイセフ
- 国立大学法人岡山大学
- 江東区立八名川小学校



第2回「ジャパンSDGsアワード」受賞団体

- ◆ S D G s 推進本部長(内閣総理大臣)賞 株式会社日本フードエコロジーセンター
- ◆SDGs推進副本部長(内閣官房長官)賞
 - 日本生活協同組合連合会
 - 鹿児島県大崎町
 - 一般社団法人ラ・バルカグループ
- ◆SDGs推進副本部長(外務大臣)賞
 - 株式会社 LIXIL
 - 特定非営利活動法人エイズ孤児支援 NGO・PLAS
 - 会宝産業株式会社
- ◆ S D G s パートナーシップ賞 (特別賞)
 - 株式会社虎屋本舗 株式会社大川印刷 SUNSHOW GROUP
 - 株式会社滋賀銀行●山陽女子中学校・高等学校地歴部●株式会社ヤクルト本社
 - ●産科婦人科舘出張 佐藤病院 ●株式会社フジテレビジョン





2018 SDGs未来都市に選定された29自治体

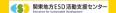
- 【都道府県】北海道、★神奈川県、長野県、広島県
- 【市町村】札幌市、★二セコ町、★下川町(北海道)、東松島市(宮城県)、仙北市(秋田県)、飯豊町(山形県)、つくば市(茨城県)、★横浜市、★鎌倉市(神奈川県)、★富山市(富山県)、珠洲市、白山市(石川県)、静岡市、浜松市(静岡県)、豊田市(愛知県)、志摩市(三重県)、堺市(大阪府)、十津川村(奈良県)、岡山市、★真庭市(岡山県)、宇部市(山口県)、上勝町(徳島県)、★北九州市(福岡県)、★壱岐市(長崎県)、★小国町(熊本県)

提案のタイトル(抜粋)

- ・コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市の実現
- ・誰もが健康で学びあい、生涯活躍するまちおかやまの推進
- ・地熱と森林の恵み、人とのつながりがもたらす持続可能なまちづくりを目指して

2019 SDGs未来都市に選定された31自治体

- 【都道府県】富山県、愛知県、滋賀県
- 【市町村】陸前高田市(岩手県)、★郡山市(福島県) みなかみ町(群馬県)、さいたま市、日野市 、★南砺市 **★**鯖江市(福井県) 名古屋市、 ★舞鶴市(京都府)、生駒市(奈良県)
 - 町(奈良県)、和歌山市、智頭町(鳥取県) ★西粟倉村(岡山県)、大牟田市(福岡県)
 - ★熊本市、★大崎町(鹿児島県)、徳之島町(鹿児島県)、★恩納 村 (沖縄県)
- ★はモデル事業に選ばれた自治体



No.	提案者名	自治体SDGsモデル事業タイトル	
1	福島県郡山市	SDGs 体感未来都市 こおりやま	
2	神奈川県小田原市	人と人とのつながりによる「いのちを守り育てる地域自給圏」の創造	
3	新潟県見附市	「歩いて暮らせるまちづくり」ウォーカブルシティの深化と定着	
4	富山県南砺市	「南砺版エコビレッジ事業」の更なる深化 〜域内外へのブランディング強化と南砺版地域循環共生圏の実装〜	
5	福井県鯖江市	女性が輝く「めがねのまちさばえ」 〜女性のエンパワーメントが地域をエンパワーメントする〜	
6	京都府舞鶴市	『ヒト、モノ、情報、あらゆる資源がつながる"未来の舞鶴"』創生事業	
7	岡山県西粟倉村	森林ファンドと森林RE Designによる百年の森林事業Ver.2.0	
8	熊本県熊本市	熊本地震の経験と教訓をいかした地域(防災)力の向上事業	
9	鹿児島県大崎町	大崎システムを起点にした世界標準の循環型地域経営モデル	
10	沖縄県恩納村	「サンゴの村宣言」S D G s プロジェクト	



※郷浦府理・市区町村7-ド順

SDGs未来都市 自治体向けSDGsガイドライン

- 「まち・ひと・しごと創生基本 方針2017 L (平成29年6月9日閣議決定)
 - •地方公共団体に対する普及促 進活動の展開
 - 地方公共団体によるSDGs達成 のためのモデル事例の形成



地方創生SDGs官民連携プラットフォーム

地方自治体におけるSDGsの達成に向 けた取組と、それに資する「環境未 来都市」構想のさらなる推進を通じ た、より一層の地方創生に向けて、 地方自治体及び地域経済に新たな付 加価値を生み出す企業、専門性を もったNGO・NPO、大学・研究機関 等の広範なステークホルダーとの ートナーシップの深化、官民連携 の推進を図るため、「環境未来都 市」構想推進協議会を発展的に改組 され、「地方創生SDGs官民連携プ ラットフォーム」が発足した。

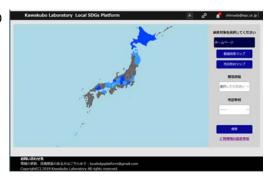


829団体(令和元年6月末現在・内自治体338団体)

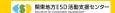
ローカルSDGsプラットフォーム 法政大学 川久保研究室

SDGs達成に向けて取り組む全国の 自治体とその関係者を支援するた めに開設した情報交換プラット フォームです。

SDGsの17ゴール別に自治体の状 況を可視化する指標データベース や全国の自治体における各種計画 へのSDGsの盛り込み状況、SDGs 達成に向けて先駆的に取り組まれ ている自治体担当者へのインタ ビュー記事などを掲載しています。



https://kawakubo-lab.ws.hosei.ac.jp



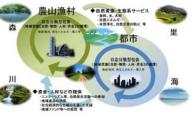
目指すべきもの

1 「地域循環共生圏」の創造。 (自立・分散型の社会、地域どうしの支え合い)

2.「世界の範となる日本」の確立。

(①公害を克服した歴史、②高い環境技術、 ③「もったいない」などの循環の精神や 自然と共生する伝統を有する我が国だからこそ できることがある)

3.これらを通じた、真に持続可能な「循環 共生型社会」(いわば「環境・生命文明社 会」)の実現。



地域循環共生圏

各地域がその特性を生かした強みを発揮し、地域ごとに異 なる資源が循環する自立・分散型の社会を形成しつつ、そ れぞれの地域の特性に応じて補完し专え合う

取り組むべきこと

1.SDGsの考え方を活用し、環境・経済・社会の統合的向上を具体化。

(環境政策を契機として、我が国が抱える経済、地域、国際などの諸課題の同時解決を図り、中長期的 な成長につなげていくため、分野横断的な6つの重点戦略を設定)

第五次環境基本計画の基本的方向性

2.あらゆる関係者と連携。

(環境・経済・社会の統合的向上を達成するためには、経済・社会の関係者ともパートナーシップを充 実・強化させることが必要)

3.地方部の地域資源を持続可能な形で最大限活用し、経済・社会活動を向上。

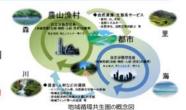
(地方部の維持・発展にもフォーカス。環境で地方を元気に!)

地域循環共生圏のポイント

■ 地域循環共生圏とは・・・ローカルSDGs

各地域がその特性(課題・ニーズ)に応じ、地域資源を活かし、自立・分散型の社会を形成しつつ、近 隣地域と補完し、支え合うことで創造。 環境・社会・経済の統合的課題解決により脱炭素とSDGsが実現した、魅力あふれる地域社会像。

- 「地域循環共生圏」創造の重要なポイント
- ✓ ①地域課題とニーズを適確に捉え、②対応する地域資 源を発見・活用し、③縦割りを超えた新たなパートナー シップを形成、地域連携を深化させ、④新たな価値を創 造し、地域経済循環を向上させる
- ✓ 更に、「テクノロジー×デザイン」で課題を克服しつつ魅力 を上げ、異分野との連携により「単一的取組から多面的 取組(統合的課題解決)」に深化させていく



















- 地域循環共生圏は、ローカルビジネスの創出や、地域経済の活性化・経済循環拡大にも大きく貢献。
- 紹介事例は緒に付いたばかりで構想ステージのものも多い。今後、Society5.0も活用し更なる異分野 連携や統合的課題解決を地域ビジネスベースで進められるよう環境省もプレーヤーとして最大限活動。



各セクターの動き:企業

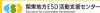
「SDGコンパス」

GRI(グローバル・レポーティング・イニシアティブ)、国連グローバル・コンパクト及びWBCSD(持続可能な発展のための世界経済人会議)によって2016年3月に発行

・ビジネスにおいてSDGsがもたらす影響を解説し、 持続可能性を企業の戦略の中心に据えるためのツール と知識を提供するもの。

- ▶将来のビジネスチャンスの見極め
- ▶企業の持続可能性に関わる価値の向上
- ▶ステークホルダーとの関係の強化、新たな 政策展開との同調
- ▶社会と市場の安定化
- ▶共通言語の使用と目的の共有





各セクターの動き:企業

企業行動憲章の改訂(2017年11月8日)

「会員企業は、持続可能な社会の実現が企業の発展の基盤であることを認識し、広く社会に有用で新たな付加価値および雇用の創造、ESG(環境・社会・ガバナンス)に配慮した経営の推進により、社会的責任への取り組みを進める。また、自社のみならず、グループ企業、サプライチェーンに対しても行動変革を促すとともに、多様な組織との協働を通じて、Society 5.0の実現、SDGsの達成に向けて行動する。」



| 関東地方ESD活動支援センター

各セクターの動き:企業

中小企業向け活用ガイド(2018年6月28日)

【ガイドの特徴】

本ガイドは、SDGsについてこれまで特段の取組を行っていない、あるいはSDGsに関心を持ち何か取組を始めてみようと考えているような、とりわけ職員数や活動の範囲が中小規模の企業・事業者を主な対象としています。このため、地域経済を支え、地域の活力の中心となって活動しているこれからの方々の目線で眺め、使いやすい内容となることを意図して構成しています。



各セクターの動き:市民

SDGs市民社会ネットワーク

Japan Civil Society Network on SDGs (SDGs Japan)

開発系NGOを中心に、ポスト2015NGOプラットフォームとして設立。 SDGsの策定に伴い、一般社団法人 SDGs市民社会ネットワークとして組織を改組し、 開発・環境・障害・ジェンダー等の分野別ユニットを軸に活動を展開している。 (2018年8月現在、100団体登録)

主な事業の柱は以下の通り。

- 提言活動
- 国際活動
- 地域間の連携
- SDGsを伝え・広げる



地域意見交換会 in 新潟

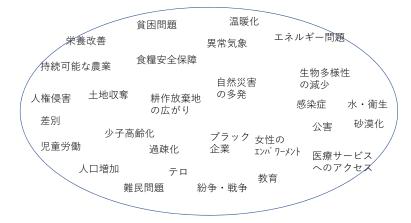
ESDの特徴

_ducation for~のための教育 Sustainable ~持続可能な Development ~開発·発展

持続可能な開発のための教育

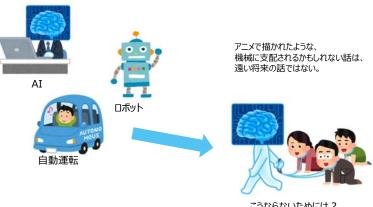
「持続可能な開発のための教育(ESD)」は、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな 生活を確保できるよう、気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等、 人類の開発活動に起因する現代社会における様々な問題を、各人が自らの問題とし て主体的に捉え、身近なところから取り組むことで、それらの問題の解決につながる 新たな価値観や行動等の変容をもたらし、もって持続可能な社会を実現していくこと を目指して行う学習・教育活動である。【ESD国内実施計画より】

ESDの背景=地球規模課題の深刻化



CSOネットワーク事務局長・理事 黒田かをり氏作成 参考:「新CSR検定3級」オルタナ他

ESDの背景=技術の進歩で社会は変わる



こうならないためには?

関東地方ESD活動支援センター

■ 関東地方ESD活動支援センター

時代の変化→教育も変化



学習指導要領の改訂

■ 前文(幼・小・中)

これからの学校(幼稚園)には、・・・<u>一人一人の生徒(幼児・児童)</u> が、・・・自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある

存在として尊重し、<u>多様な人々と協働</u>しながら様々な社会的変化を乗り越え、 豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにす

る・・・ことが求められる。このために必要な教育の在り方を具体化するのが、

各学校(幼稚園)において教育の内容と

<mark>この考え方は、</mark>りに組 ESDそのものです

りに組み立てた教育

課程である。

平成29年3月31日公示 新学習指導要領



学習指導要領の改訂

学び方としては・・・

- ①<u>教科横断的な視点</u> 「カリキュラム・マネジメント」
- ②主体的・対話的で深い学び「アクティブ・ラーニング」(問題解決的な学び)

学習指導要領の改訂

■ 前文(幼・小・中)

これからの学校(幼稚園)には、・・・一人一人の生徒(幼児・児童)

が、・・・自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、<u>多様な人々と協働</u>しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、<u>持続可能な社会の創り手となる</u>ことができるようにする・・・ことが求められる。このためによっな教育の在り方を具体化するのが、各学校(幼稚園)において教育の内容。この考え方は、ESDそのものです。

平成29年3月31日公示 新学習指導要領

学習指導要領の改訂

学び方としては・・・

- ①<u>教科横断的な視点</u> 「カリキュラム・マネジメント」
- ②主体的・対話的で深い学び「アクティブ・ラーニング」(問題解決的な学び)

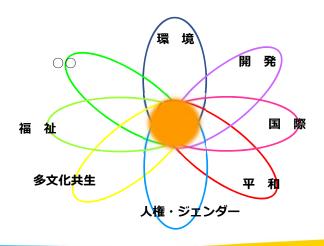
■関東地方ESD活動支援センター

2019年度KECA総合研修会

ESDの特徴

| 関東地方ESD活動支援センター

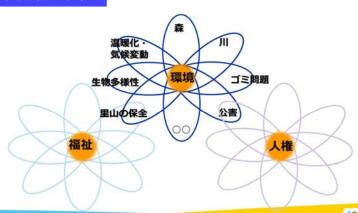
○○教育の接点 = ESD



関東地方ESD活動支援センター

ESDの特徴

多様なテーマを 総合的に扱います 問題の多くは、様々な要素が密接に関わりあっています。 それらのつながりを考え、具体的な問題解決に結びつけます。



■ 関東地方ESD活動支援センター

ESDの特徴

未来を描くこと

地域の歴史や現実を学び、そこから自分たちが望む 未来を描くことから始まります。



50年後も、 100年後も、 自分の子どもも、 孫も、そのまた 子どもも、 ずっとこの地域で 暮らすために

(多) 関東地方ESD活動支援センター

ESDの特徴

ESDの対象は子ども だけだはありません 学校、企業、地域住民、行政、NPO・・・ 多様な立場や世代の人々がESDの担い手であり、 学び手です。



「協働」する意識

- ・適切な役割分担
- ・対等な立場
- ・相互に協力
- お互いの強みを 活かして、同じ課 題を共有し、協力 し合う
- = 持続可能な社会

(S) 関東地方ESD活動支援センター

ESDの特徴

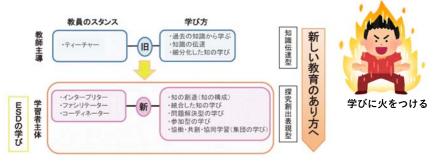
「教える」教育で はありません 具体的な課題・問題を解決するために考え、話し合い、行動しながら学ぶ学習活動です。



「気付き」を大切 にする

- ・どうして?
- 誰が?
- ・どこで?
- ・どうしたら?

ESDの進め方



環境省「ESD 環境教育モデルプログラムガイドブック②」 平成26年7月発行 より

地域意見交換会 in 新潟

ESD活動支援センターの活動



① ESD活動を支援する情報共有機能



http://kanto.esdcenter.jp/

ホームページでは、関東地域で開催されるESD/SDGs関連の情報を中心に、各地で開催された行事を取材したレポートや、当センター主催の勉強会、ESDに関する地域の活動拠点などについて、情報提供をしています。

メールマガジン @

毎月第1木曜日にメールマガジン を発行しています。 関東地方のESDに関するイベン

関末地方のEDDに関するイベント、セミナー、補助金・助成を 募集などの情報を集めてお送り しています。ESDにご関心のあ る方は、是非ご利用下さい。



Facebook でも、 日々の活動など情 報発信中!いいね!をお願いします。

(S) 関東地方ESD活動支援センター

【イベント・ニュース】

セミナー研究会等

持続可能な開発目標ってなに?

持続可能な開発目標ってなに? 506 s から読み解く、未来に向けた持続可能な社会づくり 〇日時: 平成31年2月9日 (土) 13:30~17:00 〇場ボ: コンセーレ (栃木県青年会館・栃木県宇都宮市)

○場所:コンセーレ(栃木県青年会館・栃木県宇都 ○主催:NPO法人栃木県環境カウンセラー協会

COP24: 国連? ありますか? 国連広報センター

COP24:国連気候会議 - 何が重要で、何を知っておく必要が ありますか?

国連広報センターが、UN News 特集記事・日本語訳として、今月ポー ランドで開催されたCOP24の背景資料を公開。



2018.12.13 イベント・ニュース

「日本の気候変動対策支援イニシアティブ2018」の発表

環境官は、COP24における実施指針の策定等の合意を後押しするため、 気候変勢分野における日本の国際協力に関するビジョンと具体的な取組 を取りまとめた「日本の気候変勢対策支援イニシアティブ2018』を発 表し、COP24の単で発信。

セミナー 研究会等

2018.12.13

第3回 栃木ESD勉強会「サシバの里の取り組み」

○日時: 平成30年12月15日(土) 14:00~17:00 ○場所: 宇宙宮市民プラザ 多日的ホール (版末県宇都宮市馬場通り) ※平成30年度 環境管 環境教育・学習拠点における「ESD推進」のためて実践系点を要事業



2018.12.13 イベント・ニュース

女性誌初のチャレンジ! FRaU2019年新年号のテーマは

自身にとっての「世界を変える。はじめかた」を見つけてほしい、そし て行動につなげてほしいと願い、FRAU (発行: 株式会社講談社) 新年 号では、国内女性誌では初めて、一冊丸ごとSDGsを特集 (12/20発売)

【イベント・レポート】

2008が34 イベント・レポート 【容稿】多様な主体の力を持ち容るソーシャル・プロジェクト~環

様エネルギー・ラボ2018~開催



イベント名 間隔エネルギー・ラボ2003 i n せたがや 平成304.7/(21日 (土) - 72日 (日) 10.00~17.00 (第1会報) 平成304.7/(21日 (土) 11.00~17.00 (第2会報)

平成30年7月21日 (1) 11:00~17:00 (第2公司) 第1公司 押用名文の引送机能センター (チャロットタワー4・

第2会職 三州美婦よれ渡い広衛

「中部開発」(中部のは、1989) / 加大学問題等もその手様と呼が明した意と回答を よるルギーラがが、一対国社と選(2000年を行列開発されました。 からが引き立ち走 日本をかつかり、 思報は手機を握しのOOCM1 もと刊た事業学者とできました。 おかげき まて込のの大手式を参加するとのました。 手機なアークルグー、 予機な行の力を持ち当 ケーシャル・フリュントが様々な実力を発せています。[



関東地方ESD活動支援センター

② 現場のニーズを反映したESD活動の支援機能 "ESDユース応援企画" ESD勉強会

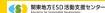
〇場所:地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)

「みんなで考える、高校向けSDGsプログラム」 〇日時:平成30年6月8日(金)18:30~20:30



「誰も取り残さない、高校でのESDを考える」 〇日時: 平成30年9月1日(土) 14:00~16:30







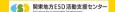
2030年の未来は、 大人には任せておけない!

中・高生なら誰でも参加できる

SDGs文化祭

本企画は、SDGsに興味のある生徒を集め、協働しての実践・発表の場を設けるものです。SDGsに興味があっても周囲に仲間がいない生徒や、関心があっても学ぶ機会が与えられていない生徒に、積極的にSDGsに関わる場所を提供していきます。

第1回	7/27 (土)	GEOC@国連大学	キックオフミーティングを行い、問題意識や興味がある分野 の共有を行う
	8/24 (土)	中目黒GTタワー前広場	市民や大学生との対話を通じ、SDGsの課題とその解決 方法をブラッシュアップする
第2回	8/25 (日)	東京大学 駒場国際教育研究棟	中高生がそれぞれ課題解決のアイデアを持ち寄り、文化 祭に向けたチームを作りSDGsプロジェクトを固めていく
第3回	11/16 (土)	調整中	成果発表の場を設ける















参加メンバーが考えた 「実践したいSDGsプラン」

- 1.プラスチック(ペットボトル)削減
- 2.Fair Trade
- 3.難民
- 4.子供食堂w/スーパー
- 5.受動喫煙
- 6.誰でも渡れる信号機
- 7.SDGsの広報
- 8.30年後に住みたい街
- 9.風力発電
- 10.SDGsの加速@自治体

③ESD活動のネットワークの形成機能

ESD推進ネットワーク 全国フォーラム2018 SDGsを地域で達成していくための人づくり

: 地域ESD拠点の可能性

日時: 平成30年11月30日~12月1日

会 場:国立オリンピック記念青少年総合センター

参加者: のべ369名

今年度の開催日程

主 催 ESD活動支援センター、文部科学省、環境省

日 時 2019年12月20日(金)、21日(土)

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター









③ESD活動のネットワークの形成機能

関東ESD推進ネットワーク第2回 地域フォーラム





日時 平成30年12月22日(土)13:30~17:30

場所 東京ウィメンズプラザ ホール・視聴覚室 (東京都渋谷区神宮前5丁目53-67)

主催 関東地方ESD活動支援センター

参加者 一般70名+スタッフ11名



今年度ご案内

2020年1月26日(土) 東京ウィメンズプラザ

| 関東地方ESD活動支援センター

③ ESD活動のネットワークの形成機能

地域ESD拠点の意見交換会

「地域意見交換会in埼玉2019」 〜学校と地域が連携したESDを考える〜

日時: 平成31年2月16日(土) 14:00~16:30

会 場: 筑波大学附属坂戸高等学校

事例紹介① SDGsを教室へ. 研究開発学校「グローバルシティズンシップ科」の実践

埼玉県上尾市立東中学校 研究主任 松倉 紗野香 先生

事例紹介② SGHの取組

筑波大学附属坂戸高校 建元 喜寿 先生

第3回 やまなし環境教育ミーティング

日時:2019年3月16日(土)

10:00~16:00 会 場 : 山梨県立八ヶ岳

自然ふれあいセンター

パネルディスカッション

「教育」「暮らし」「仕事」をテーマに

・小西 貴士 (写真家)

・永井 寛子(認定NPO法人スペースふう)

·中田 無双(北都留森林組合参事)

事例紹介&情報交換 ~環境教育屋台村~

関東地方ESD活動支援センター

4 人材育成機能

静岡県立三島北高校 「SGH初期指導-LWIの発見」 平成30年4月11日(水) 静岡県立三島北高校



群馬県環境アドバイザー研修会 「ESD/SDGsについて」 平成30年6月28日(木) 群馬県庁2階ビジターセンター 東京都ユネスコ連絡協議会 ESD研究会 「SDGs達成に向けたESDの実践」 講演・ワークショップ 平成30年7月21日(土) 新宿区立男女共同参画推進センター



地域意見交換会 in 新潟

地域ESD拠点について

地域ESD活動推進拠点(地域ESD拠点) 登録制度

学校現場・社会教育の現場では、さまざまな主体が地域 や社会の課題解決に関する学びや活動に取り組んでいま す。

そうした現場のESDを支援・推進する役割を担う組織・ 団体を「ESD推進ネットワーク」における「地域ESD活動推進拠点」(地域ESD拠点)として登録することができます。





■茨城県

・<u>認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ</u> 〈水戸市〉・キヤノンエコテクノパーク 〈坂東市〉

■栃木県

・特定非営利活動法人 エコロジーオンライン 〈佐野市〉

■群馬県

- ・チャウス自然体験学校(NPO法人 チャウス) <桐生市>
- ・サンデンフォレスト(サンデンファシリティ株式会社) <前橋市>・きりゅう市民活動推進ネットワーク <桐生市>

■埼玉県

·筑波大学附属坂戸高等学校 <坂戸市>

■千笹但

・特定非営利活動法人環境パートナーシップちば(NPO環パちば) 〈千葉市花見川区〉

■東京都

- ·立教大学ESD研究所 〈豊島区〉
- ・一般社団法人 新宿ユネスコ協会 <新宿区>
- ·NPO法人新宿環境活動ネット <新宿区>
- ・聖心女子大学グローバル共生研究所 <渋谷区>
- · <u>晃華学園中学校高等学校</u> <調布市>
- ・成蹊学園サステナビリティ教育研究センター 〈武蔵野市〉
- ・多摩大学 アクティブ・ラーニング支援センター 〈多摩市〉

地域ESD活動推進拠点 登録状況

全国:97

うち関東:23

■神奈川県

・認定NPO法人アクト川崎<川崎市高津区>

■新潟県

- ·学校法人 日本自然環境専門学校 〈新潟市中央区〉
- ・新潟市水族館マリンピア日本海 <新潟市中央区>
- •公益財団法人 鼓童文化財団 〈佐渡市〉
- ・一般社団法人あがのがわ環境学舎 <阿賀野市>

■山梨県

・公益財団法人キープ協会 <北杜市>

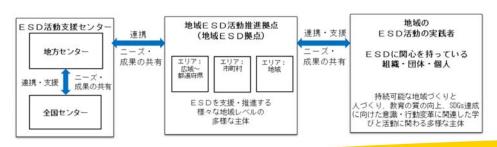
- 熱図旧

- ・特定非営利活動法人アースライフネットワーク 〈静岡市葵区〉
- ・伊豆半島ジオパーク推進協議会・教育部会 〈伊豆市〉

関東地方ESD活動支援センター

「地域ESD拠点」

地域ESD拠点には、地方センターの地域におけるパートナーとして、他の地域ESD拠点とも連携し、各地域・各分野で取り組まれるESDをさまざまな形で支援することでESD推進ネットワークの中で中核的な役割を果たすことが期待されています。



「関東地方ESD活動支援センター

地域ESD推進拠点の整理

ESDに関する実践活動、支援活動の状況により拠点を整理

支援活動を行っている 推進 推進 拠点 拠点 実践活動を 実践活動を 行っていない 行っている 潜在 活動 拠点 拠点

支援活動を行っていない

■関東地方ESD活動支援センター

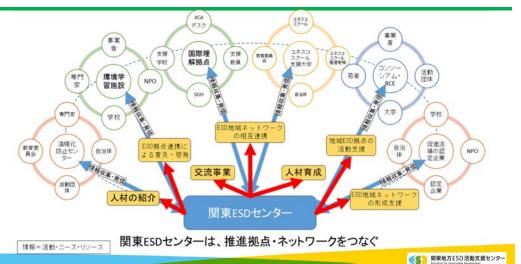
地域ESD拠点のタイプ別イメージ

タイプ・形態	想定される組織・団体
中間支援組織型	地球温暖化防止活動センター、NPO支援センター、地域支援センター、 JICA、ASPUnivNet(ASPユニブネット)加盟大学
ネットワーク型	ESDコンソーシアム、RCE(国際連合大学が推進するRegional Centres of Expertise on ESD)、ESD協議会、環境ネットワーク組織、環境教育プ ラットフォーム、メディア
先導実践型 (トップランナー型)	ユネスコスクール、学校、大学、企業、NGO/NPO、自然学校、自治体・ 行政機関、教育委員会、ユース組織、地域ユネスコ協会
施設・センター型	環境学習施設、社会教育施設(博物館、図書館、公民館、動物園、水族館、植物園)、国際理解拠点、男女参画センター、消費生活センター
シンクタンク型	学術研究機関、ESD関連学会、教育研究所・教育センター、専門家ネットワーク

関東地方ESD活動支援センター

関東地方ESD活動支援センター

地域ESD拠点のイメージ



ESDの今、これから

